

地域福祉の推進力

ボランティア



問い合わせ 社会健康課 ☎21152

油見三丁目に安心して暮らせる地域づくりを目指し、平成13年から活動している地域ボランティアグループ「とうがきの会」があります。

代表の新本南海さん、丸古清子さんに活動内容についてお話を伺いました。

「とうがきの会」の由来は

「とうがき」とは、いちじくのことです。油見地区は、昔いちじくが有名だったので、皆さんが親しみを持てるよう、会の名前を「とうがきの会」としました。



どんな活動をしていますか

現在は、ボランティア8人で活動しています。地区在住の一人暮らしの高齢者のうち、とうがきの会に参加の希望があった方を会員とし、現在14人の方が参加されています。



ボランティアの方
の手作りの食事

主な活動内容は、油見地区の公園および会館の清掃活動、盆踊りや餅つき大会などの行事への参加です。年に一度総会を開催し、会員と一緒にレクリエーションや食事を行います。また、年末には見守りも兼ね、会員宅を訪問し、プレゼントを渡しています。

レクリエーションの輪投げ



活動のやりがいは

会員が笑顔を見せてくれたり、喜んでもらえることがやりがいです。集まりや訪問を楽しみにされている会員がおられます。そのことを聞くで大変嬉しく思います。

これからも、みんなで力を合わせて、楽しく活動を続けていきたいと思えます。

笑顔いっぱいの楽しい会です



「社会福祉関係 功労者等の知事表彰」 とうがきの会



大竹市社会福祉協議会角井地域福祉係長にコメントをいただきました。

自分の趣味や特技を活かした活動を、地域に役立ててみませんか。

地域福祉の推進には、ボランティアの皆さんの力を必要としています。

ボランティアは、「できるときに、できることを！」を合言葉にしています。

ボランティアは特別なものではなく、「昔ながらのご近所づきあい、向こう三軒両隣」の気持ちで取り組んでいただきたいと思います。

地域福祉の推進にあたり、社会福祉協議会のパートナーになってください。

ボランティアに興味がある方は大竹市社会福祉協議会地域福祉係までお問い合わせください。

問い合わせ ☎2211

